

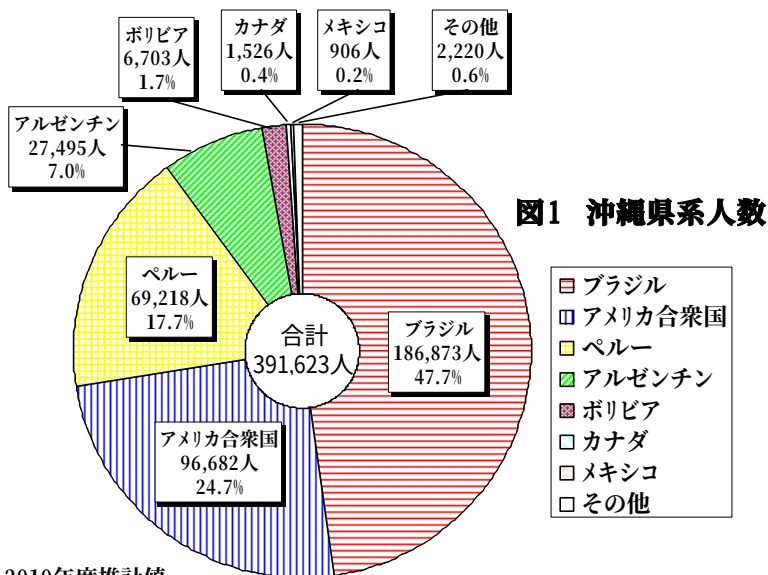


集え、世界のウチナンチュたち！



今年は、世界各地の沖縄県系人が沖縄に集い、交流を深める「第5回世界のウチナンチュ大会」が10月12日(水)～16日(日)に開催されます。

日本有数の移民県である沖縄では、戦前戦後を通じ多くの県民が海外へ雄飛し、現在、北米・南米をはじめ世界各地に約40万人の県系人が在住しています。その「世界のウチナンチュ」(方言で“沖縄の人”のこと)が、5年に1度母県に集う、沖縄県ならではの感動イベントが「世界のウチナンチュ大会」です。



2010年度推計値
資料: 沖縄県文化観光スポーツ部交流推進課

表1 沖縄県系人数の占める割合

	日系人数	沖縄県系人数	日系人数に占める沖縄県系人数の割合
ペルー	98,883人	69,218人	70%
アルゼンチン	39,279人	27,495人	70%
ボリビア	11,173人	6,703人	60%
ブラジル	1,868,736人	186,873人	10%
アメリカ合衆国	1,208,527人	96,682人	8%
メキシコ	18,139人	906人	5%
カナダ	76,322人	1,526人	2%
その他	37,010人	2,220人	6%

※2010年度推計値
資料: 沖縄県文化観光スポーツ部交流推進課

ところで皆さんは、沖縄県系人がどの地域にどのくらい在住しているかご存じですか？

2010年度の推計値によると、ブラジルが約18万7千人と最も多く、全体の半数近くを占めています。次いで、アメリカ合衆国が約9万7千人と続きます。【図1】

左図から分かるように、沖縄県系人のほとんどが南米や北米に在住していることが分かります。

次に日系人数に占める沖縄県系人数の割合をみると、ペルーが日系人数98,883人に対し沖縄県系人数が69,218人と約7割が沖縄県系人で占めています。アルゼンチンもほぼ同じ割合の7割が沖縄県系人です。

一方、沖縄県系人数が約18万7千人と最も多かったブラジルですが、日系人数に占める割合は1割程度となっています。【表1】

さて、「世界のウチナンチュ大会」ですが、1990年に第1回大会が開催されました。

当時は、世界17ヶ国41地域から2,397人ものウチナンチュが集まり、何十年ぶりに故郷の地に降り立った1世、初めて母県の土を踏んだ2世、3世、そして彼らを温かく迎えた家族、親類などが抱擁を交わし合い、国境を越えて心を通いあわせた感動の大会となりました。

今回の「第5回世界のウチナンチュ大会」は、“ちゅら島の魂響け未来まで”をキャッチフレーズに10月12日(水)～10月16日(日)の期間、主会場の沖縄セルラースタジアム那覇及び沖縄コンベンションセンターなど県内各地で開催されます。

イベントも民族衣装などを着た各国のウチナンチュが那覇市の国際通りをパレードしたり奥武山陸上競技場では世界エイサー大会が開かれたりと数多く用意されています。